

H25年度在宅医療推進モデル事業報告

岸和田市医師会

2014.3.29

岸和田市医師会
在宅医療推進モデル事業運営委員会

1

大阪府岸和田市・泉州二次医療圏

大阪府岸和田市 人口 19.7万人

高齢化率 23.15%

要介護高齢者 約1万人

2012年 在宅死亡率

全死因 16.2%

悪性新生物 14%

・中規模急性期病院 2

市立岸和田市民病院 400床

岸和田徳洲会病院 322床

・緩和ケア病棟 2 36床



泉州二次医療圏 8市4町
437平方km 92万人
・中小都市で構成
・大学病院・大病院がない
・療養病床が多い
・緩和ケア病棟が複数ある

2

岸和田市6日常生活圏域



3

現状認識

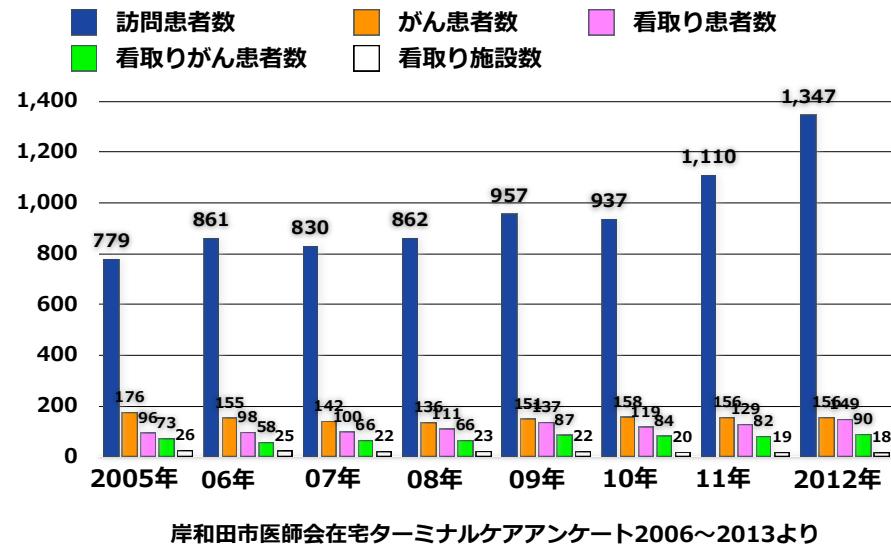
岸和田市は在宅療養支援診療所の比率は大阪府全体と同様であるが、2012年4月から新たに導入された機能強化型の割合が在宅療養支援診療所の半分近くを占めるなど、在宅医療活動は従来から盛んな地域である。

しかしながら今後予想される在宅患者の増加に充分なキャパシティは無く、在宅医療の積極的実施、スムーズな多職種連携はすでに一部では実現されているが、いつでもどこでも可能なものにはなっていない。

また行政と連携した地域の数値目標の設定や、居住系施設等が増加する中で透明性のある適切な在宅医療の推進が、住民への啓発活動、情報提供を通じて実現される必要がある。

4

岸和田市医師会在宅医療活動状況の推移



5

モデル事業名

医師会在宅地域医療連携室の設置による
多職種連携の推進と住民への啓発活動による
適切な在宅医療の普及と透明性の推進

7

在宅医療の普及に向けての課題

- (1) 病院からの退院促進による在宅療養患者の増加
- (2) 在宅医療の受け皿の拡大と若い世代の医師への世代交代
- (3) 多職種連携チームが関わる在宅ケアを受けるケース比率の増加
- (4) 在宅ケアの透明性を高めて質を担保するためのICTを利用した多職種連携の工夫
- (5) 市民への在宅医療、終末期医療の啓発による適切な在宅医療に関する知識の周知に向けた取組み
- (6) 今後重要性を増す居住系施設等での適切な在宅ケアの実施
- (7) 地域包括ケアシステムとの整合性を持った外来・在宅医療の実施
- (8) 行政との協力による在宅医療・ケアに関する地域の基礎的数値の把握と目標設定
- (9) 緊急時の救急医療・救急隊との適切な情報共有の推進
- (10) レスパイトケアの可能な療養病床との連携

6

H25年度事業

(1) 多職種連携研修会 市全体×1 圏域×3	(2) 住民啓発講演会 市全体×1 圏域×4 小冊子「在宅ケアについて知りたい方へ」作成	(3) 基礎データ調査 保健所で 市のH24年分全死亡小表調査 在宅・施設・検視、検死など 調査
(4) 医療と介護の連携ハンドブック作成	(5) 医療と介護の応援ポータルサイトin岸和田 @ホームきしわだ 作成 (1) ニュース・お知らせ (2) 在宅ケア啓発・支援情報 啓発小冊子ダウンロード (3) 医療と介護の資源検索 (4) 統計や情報のページ (5) リンク (6) 事業者ログイン・情報修正・新規登録	

岸和田市医師会在宅医療地域連携室
岸和田市医師会在宅医療推進モデル事業運営委員会

8

遂行組織1

岸和田市医師会

岸和田市医療と介護の連携会議

岸和田市医師会
理事会

在宅医療推進モデル事業
運営委員会

在宅医療地域連携室

岸和田市医師会
地域包括支援センター6カ所
岸和田市
(介護保険課・福祉政策課
健康推進課・障害支援課)

在宅医療推進地域リーダー
歯科医師会・薬剤師会
訪問看護ST

訪問リハビリ提供機関

岸和田保健所

9

(1) 多職種連携研修会

日付・場所	範囲・時間	内 容
2013.8.4 (日) 市立産業会館	市全体研修会 9:45-16:30	10職種 100名 三師会・訪問看護からの講演・報告 GW:認知症 終末期の支援 多職種他職種アンケートの実施
2013.12.12 (木) 市立 福祉総合センター	都市中核圏域研修会 14:00-16:00	11職種 65名 地域包括支援センターの紹介 GW:在宅生活を支えるためのネットワーク構築
2014.2.1 (木) 市立 八木市民センター	久米田・牛滝の谷圏域合同研修会 14:00-18:00	13職種 69名 包括支援センターが果たす役割 認知症ライフサポート研修 宮島渡先生
2014.3.13 (木) 市立 福祉総合センター	中部・葛城の谷圏域合同研修会 14:00-16:00	16職種 100名 地域包括支援センターの紹介 GW:在宅生活を支えるためのネットワーク構築

11

遂行組織2 ワーキンググループ

在宅医療推進 Working Group メンバー (敬称略) 2013.6.6現在

多職種連携 研修会	出水 明 医師会 (L)	池添 達夫 看護 奥幸 医師会 (S)	岩田 和久 看護 医師会 (S)	稻垣 俊郎 看護 医師会 (S)
杉浦 勉美 医師会 委員会	川口 梢葉 看護 医師会 委員会	西田 明子 看護 医師会 委員会	川本 梅次 看護 医師会 委員会	藤原 悅子 看護 医師会 委員会
仙波奈純美 医師会 委員会 ターゲット班 長	休場恵美子 看護 医師会 委員会	東元 郁弥世 看護 医師会 委員会	庄司 彰義 市役所福祉政 策課	藤原 悅子 看護 医師会 委員会

*リーダーを (L)、サブリーダーを (S) に省略しています。

- 多職種約20名5グループで構成
(多職種連携・住民啓発事業・基礎データ作成・資源マップ作成・ポータルサイト作成)
- 医療と介護の連携会議月1回
- ワーキンググループ臨時会議
- サイボウズLiveでのネット会議
5月～3月で 381件の書き込み

10

(1) 多職種連携研修会



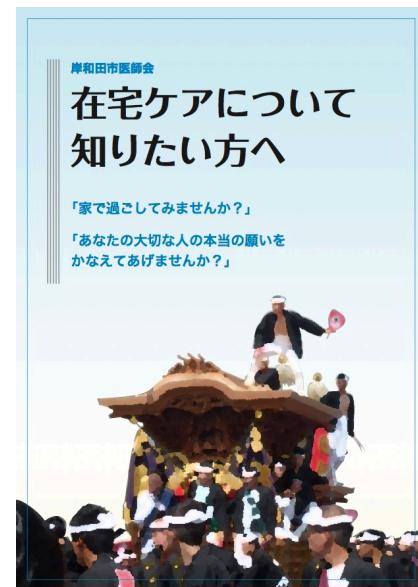
12

(2) 住民啓発講演会

日付・場所	範囲・時間	内 容
2013.12.5 (木) 市立 福祉総合センター	都市中核圏域 14:00-16:00	参加者54名 「幸せな胃ろうと不幸な胃ろう」 「地域包括支援センターについて」
2013.12.12 (木) 市立 桜台市民センター	中部・葛城の谷圏域 14:00-16:00	参加者63名 「認知症ってなに?」「さあ!これから始めましょう 簡単にできる介護予防」
2014.2.15 (土) 市立産業会館	市全体 14:30-16:30	参加者 130名 「大往生なんかせんでもええやん」 桜井隆先生
2014.3.15 (土) 市立 春木市民センター	北部・牛滝の谷圏域 14:30-16:30	参加者62名 「認知症ってなに?」「さあ!これから始めましょう 簡単にできる介護予防」
2014.3.27 (土) 市立 八木市民センター	久米田圏域 13:30-14:30	参加者62名 「ロコモシンドロームについて」

13

住民啓発小冊子「在宅ケアについて知りたい方へ」



A5版カラー 16ページ

■各職種の役割 (1) 医療系職種

【在宅主治医】
訪問診療（曜日を決めた定期的訪問）と往診（変化があった時に臨時に訪問）を組み合わせて行い、在宅での診療、病院医師との連携や訪問看護師を始めとした多職種への指示書や意見書を書きます。状態が落ち着いている患者さんは2週間に1度、状態が不安だったり人工呼吸器など高度な医療が必要な場合は週に1度の訪問が普段です。

在宅療養支援診療所の場合は24時間対応（いつも連絡が付き、夜があれば訪問）や看取への対応をしています。

【訪問看護師】
医師の指示に基づき、訪問看護ステーションまたは診療や病院から訪問します。（1）医師の指示による病状の観察や処置・点滴・医療機器のチェックをしたり医師に様々な情報を伝えたりすること（2）看護師独自の療養上のお世話、家庭ケアなど医療的な知識をベースに患者さんやご家族の生活の質の向上につながる援助をすることが大きな仕事です。また医師と協力して、ケアマネジャーなど介護や福祉の職種との連絡役をします。

旅館によっては24時間対応をしています。

【病院医師】
病状によっては在宅主治医の訪問と病院主治医への外来通院を行って受けられます。在宅主治医が主となって病院医師がそのサポートをする場合と、病院主治医が主となって在宅医がそのサポートをする場合があります。救急での受診や入院治療、外来での検査や治療も病院医師の仕事です。



4

14

(3) 基礎データ調査

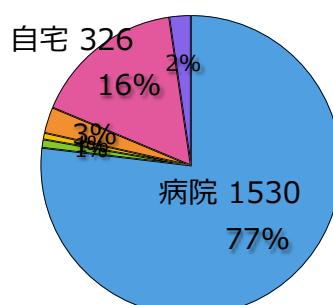
現在行政から提供されている資料では、疾患別の在宅死亡率すら不明である。最近、都会での在宅死亡率の上昇は、家族や医療者に看取られたのではなく、いわゆる孤独死や検視の増加が寄与していると言われているが、これも確かな資料がない。

地域での今後の看取りの提供体制を考える上でも、地域の死亡の場所の現状調査は大切である。今回保健所の協力を得て、岸和田市の平成24年度1年間の全死亡診断書から、看取りの場所や疾患、看取りの形（死亡診断か検案か）などについて集計をおこなう許可を厚生労働省から取得し、保健所内において集計した。

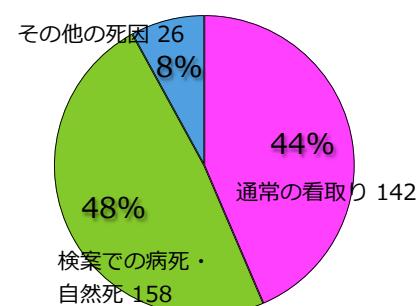
15

(3) 基礎データ調査

死亡の場所 n=1990



自宅死亡の内訳 n=326



- 病院
- 診療所
- 老健
- 老人ホーム
- 自宅
- その他

- 病死・自然死
- 検案病死・自然死
- 検案その他

16

(4) 医療と介護の連携ハンドブック A4版

【目次】

1. はじめに
2. 診療所・病院情報
3. 歯科診療所情報
4. 保険調剤薬局情報
5. 訪問看護情報
6. 訪問リハビリテーション情報
7. 介護保険事業者情報
8. 地域包括支援センター情報
9. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅情報

17

医療と介護の連携ハンドブック 特色

1. 診療所は在宅医療部分、病院は連携部門について
詳細な情報を記載 またフリーコメント部分を作り
自院の特長や実績を記載
2. 訪問看護はステーション・医療機関の双方を記載
3. 訪問リハビリテーション情報を記載
4. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅情報では
外部サービスの利用が可能か、看取りに対応しているかを記載
5. 印刷物と同時に、「医療と介護の応援ポータルサイト」であるアットホームきしわだ (home-kishiwada.jp)を立ち上げ、ここで検索できる形でデータを載せ、医療系機関にはログインID、パスワードを発行して隨時更新可能な形をつくる

18

(5) アットホームきしわだの立ち上げ

アットホームきしわだ @home-kishiwada.jp

「アットホームきしわだ」は住み慣れた地域で、病気や障害を持っても安心して生活を継続できるように、医療、介護の両面に関わる施設や情報を提供するポータルサイトです。

- (1) お知らせ・ニュース
1.在宅・地域包括ケアに関する講演会 勉強会などのおしらせ
2.制度の変更などの主に行政からのお知らせ
- (2) 在宅医療・在宅ケアに関する説明
パンフレット（在宅ケアについて知りたい方へ）のPDFダウンロードなど
- (3) 在宅医療・介護サービスの検索
1.在宅医療情報
市内の診療所・病院、歯科診療所、調剤薬局、訪問看護、訪問リハビリテーションの在宅対応情報を閲覧・検索できます。
2.介護サービス情報
- (4) リンク

19

在宅医療と介護の応援ポータルサイト



The screenshot shows the homepage of the 'At Home Kishiwada' website. The header features the site's name and a small house icon. Below the header, there's a colorful illustration of a town with houses, trees, and people. The main menu includes links for 'Home', 'At Home Kishiwada', 'Information', 'Medical and Nursing Facility Search', and 'Information'. On the left side, there are search boxes for 'Medical and Nursing Facility Search' (岸和田市の医療施設検索) and 'Nursing Service Business Search' (岸和田市の介護事業者検索). There are also buttons for 'Site Internal Search' (サイト内検索) and 'Search' (検索). The right side of the page displays three cards: 'In-home Care Information' (在宅ケア情報), 'In-home Nursing Care' (在宅看護), and 'In-home Death Care' (在宅死後ケア). Below these cards, there's a section for 'Information' (お知らせ) with a list of news items from 2014, such as 'Newly established medical facilities' (新規開院), 'Establishment of medical and nursing facilities' (医療・介護施設新設), and 'Introduction of new medical facilities' (新規開院). The bottom of the page has a footer with a 'Thank you for your visit' message (ご訪問ありがとうございます) and a link to the privacy policy (プライバシーポリシー).

20

医療機関情報

医療機関詳細情報		在宅対応詳細情報																									
医療機関名		最終更新日	2014年1月20日																								
枚区	大宮	包括圏域	都市中核																								
医師名																											
診療科目	内科・ペインクリニック内科・呼吸器科																										
住所	〒596-0 岸和田市																										
電話	072-	FAX	072-43																								
アクセス	南海線泉大宮駅より山側へ徒歩3分																										
駐車場	有(5台)	車いす対応	●可能 ●対応トイレ有																								
E-mail	clinic@demizucc.or.jp																										
URL	http://demizucc.or.jp																										
診療時間	<table border="1"> <tr> <th>曜日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> <th>日</th> </tr> <tr> <td>午前(9:00~12:00)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>夕方(17:00~19:00)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			曜日	月	火	水	木	金	土	日	午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	×	夕方(17:00~19:00)	○	×	○	×	○	×	×
曜日	月	火	水	木	金	土	日																				
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	×																				
夕方(17:00~19:00)	○	×	○	×	○	×	×																				
外来診察コメント	<p>◆休診日：日祝・火・木・土曜午後 ◆受付時間：8:00~11:45 / 16:30~18:45</p>																										
往診・訪問診療の対応	可	●紹介患者・かかりつけ患者																									
他医療との連絡面談予約方法	●電話 (9:00~17:00) ●FAX ●E-mail																										
特長・コメントなど	燃煙外来あり。在宅診療に力を入れており、機能強化型在宅医療支援診療所になっています。																										

21

まとめ 平成25年度事業の成果

1. 岸和田市医師会内に今後の在宅医療連携拠点となる在宅医療地域連携室を設置した。
2. 医療と介護の連携会議をベースに、三師会・地域包括支援センター・市役所を始め市内の多職種で様々な事業を今後推進する実働組織が形成された。
3. 多職種連携研修会の開催で職種間の「顔の見える関係」が強固なものとなった。
4. 「医療と介護の応援ポータルサイト」であるアットホームきしわだ (home-kishiwada.jp) の開設で今後、少ない費用で更新された医療機関情報など様々な情報を関係者・市民で共有できる基礎ができた。
5. 住民啓発小冊子、講演会の開催で最も大切な市民への働きかけの形ができた。

22

平成26年度在宅医療連携拠点事業への展望

- 1 研修の実施 多職種連携研修会の継続実施 全体 圏域
- 2 会議の開催 岸和田市医療と介護の連携会議に病院からの参加を促す (急性期 慢性期 MSW)
- 3 地域の医療・福祉資源の把握および活用 ホームページ アットホームきしわだの充実 資源情報の定期的更新支援
- 4 地域住民への普及・啓発 全体・圏域での住民対象の講演会の開催 小グループ(老人会他)への出張講義の実施 ホームページ アットホームきしわだの充実 在宅相談室：市民からの相談を医師・看護師・ケアマネジャーなど専門職が受けける

23

平成26年度在宅医療連携拠点事業への展望

- 5 地域包括支援センター・ケアマネを対象にした支援の実施 医療と介護の連携会議の定期的開催 在宅相談室：多職種からの相談を医師が受ける 定期的な相談日の設定 研修会への講師(医師会員)派遣
- 6 効率的な情報共有のための取り組み Cloud型情報共有システムの導入とそれによる多職種連携の試行 ホームページ アットホームきしわだを通じた情報配信
- 7 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築にむけた検討 在宅参入支援プログラムの実施 外来機能+在宅医療の推進 講習(技術・保険請求・連携)・往診同行・診療連携での24時間対応支援 救急病院と在宅24時間対応患者についての連携方法の検討

24